



NEXI

Nippon Export and Investment Insurance

ANNUAL REPORT 2018

日本貿易保険 年次報告書



主な引受プロジェクト (中堅・中小企業の海外展開支援)

りんご輸出

日本の農産物の輸出販売業を行う株式会社日本農業(日本農業)は、香港・台湾・タイ王国向けのりんご輸出取引に中小企業・農林水産業輸出代金保険を利用しています。

日本農業は2016年に設立したスタートアップ企業で、「日本の農業で、世界を驚かす」をミッションとして事業を展開しています。

国内に販路が限られがちな日本の農産物を、確かな品質のものとして適切な価格で海外に輸出することで、良いものを作れば作るほど儲かる農業への構造転換を目指しています。青森県産のりんごを主力としながら、りんご以外にもシャインマスカットや桃といった、人気の高い青果物をアジア各国に輸出し、日本の農産品の海外でのプレゼンスを高める役割も担っています。

本件は輸出金額が大幅に拡大する際に、代金回収リスク軽減の手段として、貿易保険を活用することで、成約に至りました。今後も貿易保険を用いて海外市場への積極的な販売拡大を行っていきます。

- 年間の保険利用対象輸出金額：約1億5千万円
- 初回保険契約締結：2018年10月



(写真提供：株式会社日本農業)

金芽米輸出

和歌山と東京(銀座)に本社を構える1961年創業(前身の東洋精米機製作所)の東洋ライス株式会社(東洋ライス)は、香港への「金芽米」及び「金芽ロウカット玄米」輸出取引に中小企業・農林水産業輸出代金保険を利用し、代金回収リスクに備えることとしました。

「金芽米」、「金芽ロウカット玄米」とは、独自の精製技術によって玄米が持つ高栄養を残しつつ、美味しさも実現した無洗米です。「金芽米」、「金芽ロウカット玄米」の価値は日本国内のみならず、アジアを中心とした世界各国で評価されており、「世界における日本のコメの価値向上」にも大きく貢献しています。

2019年2月には、同社が開発・製造している「BG(Bran=ヌカ Grind=削る)無洗米」に関わる米生産者、精米企業、流通、飲食業、医療福祉関係機関等の約400人が3会場に集まり、これからの時代に求められる食べ物「サステナブルフード」に関するレッスンを受講するというギネス世界記録を達成しています。

東洋ライスは、従来は商社を介在させた間接貿易で商品を輸出していましたが、海外における健康志向の拡大傾向から、より積極的に海外展開を行うべく、一部地域で直接

輸出を開始いたしました。その際、代金回収不能リスクのヘッジ手段として、NEXIの中小企業・農林水産業輸出代金保険を利用することになりました。

現在、日本のコメの輸出力強化が課題とされている中、東洋ライスは今後も引き続き貿易保険を活用して輸出を拡大していくとともに、「金芽米」、「金芽ロウカット玄米」を日本のコメのフラッグシップとして、その地位が更に強固なものになるよう、取り組み続ける予定です。

- 保険契約締結：2018年4月



(写真提供：東洋ライス株式会社)